

人生100歳時代を迎えて

～人生の最終段階をどう支えるのか～

日時:2018年12月11日(火)13:00-15:00

場所:三重大学医学部 看護学科第3講義室

講師:秋山正子 氏

(株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーション 統括所長, 暮らしの保健室 室長
NPO法人maggie's tokyo 共同代表・センター長

厚生労働省の調査によると、平成30年9月15日現在、住民基本台帳に基づく100歳以上の高齢者数は、6万9785人です。老人福祉法が制定された昭和38年には全国で153人でしたが、昭和56年に千人を超え、その後、平成10年に1万人、平成24年に5万人を超え、さらに増え続け人生100歳時代を迎えようとしています。長い療養経過を辿る中で、少しずつ身体機能は低下し、家族は何度も死を覚悟する場面に遭遇しますが、最期まで気持ちは揺れ動いています。ご本人の意思を支え、揺れる家族を支えるために、どのような関わりが必要なのでしょうか。人生100歳時代を迎えてのアドバンスケアプランニング、意思決定、家族支援について一緒に考えてみたいと思います。

<講師プロフィール>

秋田県出身。1973年聖路加看護大学卒業。産婦人科病棟にて臨床経験後、看護教育に従事。1992年より訪問看護に携わる。2001年株式会社ケアーズ設立。白十字訪問看護ステーション・白十字ヘルパーステーション統括所長として現場を訪問する傍ら、介護サービス事業者協会や地域看護業務連絡会の委員を務める。また看護学部非常勤務講師、30年後の医療の姿を考える会会長、NPO法人白十字在宅ボランティアの会理事長。

著書に「在宅ケアの不思議な力」「在宅ケアのつながる力」「つながる・つくりだす・ささえる在宅現場の地域包括ケア」(医学書院)など。患者や高齢者または、障がい者など社会的に不利な立場にあり、援助を必要としている方々のケアのために特別な努力をされた人に贈られるHealth Society 賞受賞(平成23年度)。

参加費:無料 (三重大学:近鉄江戸橋駅より徒歩15分、近鉄津駅よりタクシー10分)

申し込み方法: お問い合わせ先へe-mailをお願いします。(所属、氏名を明記)

* 資料準備の関係上、事前に申し込みをしてください。

お問い合わせ: 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻がん看護学分野(坂口美和)

e-mail miwasaka@nurse.medic.mie-u.ac.jp